

会 議 名	第 21 回 港区景観審議会
開 催 日 時	平成 31 年 3 月 25 日(月曜日) 午後 5 時 30 分から午後 7 時まで
開 催 場 所	区役所 9 階 915 会議室
委 員	(出席者) 大倉 富美雄 委員 齋藤 潮 委員 杉山 朗子 委員 沼田 麻美子 委員 渡邊 大志 委員 岡元 隆治 委員 小倉 敬子 委員 須佐 直人 委員 (欠席者) 倉田 直道 委員 山崎 誠子 委員
	(臨時委員：港区景観アドバイザー) 藤野 珠枝 氏 蓮池 ゆう子 氏 一糸 左近 氏 連 健夫 氏
事 務 局	街づくり事業担当部長、都市計画課長、開発指導課長、街づくり計画担当係長・係員、景観指導係長・係員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議事 第 3 回区民景観セレクションの公募結果と予備選定の方向性について 3 閉会
配 付 資 料	資料 1 第 3 回区民景観セレクション公募結果の概要 資料 2 応募景観一覧 資料 3 予備選定の方向性と今後のスケジュール 参考資料 1 第 3 回区民景観セレクション応募案内 参考資料 2 東京タワー周辺の景観形成の考え方(「港区景観計画」の抜粋) 参考資料 3 港区景観表彰実施要綱 参考資料 4 港区景観表彰選定審査会運営要領 参考資料 5 港区景観審議会委員名簿

会議の結果及び主要な発言

2 議事

- ・第3回区民景観セレクションの公募結果と予備選定の方向性について

事務局

(事務局から説明)

A委員

時間、季節等、同じ場所でも観点が異なる場合、どのように判断して評価すべきか。

G臨時委員

素敵だと思う人が応募したなら、そのまま受け取ればよいのではないか。

会長

時間、季節の扱いについては、応募者からの思いをそのまま汲むようにして、我々はその意図を操作したりしないということではないか。

B委員

例えば1番の方は、特に「春」を評価しているが、2番の方は、歴史が融合している感覚ということの評価しており、季節に縛られるものではない。応募された方の主旨を考えると、これは互いに違うのではないか。

事務局

応募の文章と写真が必ずしも一致していないものや、昼のことを言っているのか、夜のことを言っているのか、一概に判断できないものが多々ある。予備選定では、選定すべき景観への票入れとあわせて評価コメントを書きいただくため、最終選定の際に、そのコメントを参照し、それぞれの景観をどの観点で打ち出すかを議論できればよいと考えている。

会長

それぞれの景観をどのように扱うかを含めて審査を進めていくということで、この場で細かく決めなくてもいいということではないか。

H臨時委員

春夏秋冬や、朝日、夜、昼間など、1つのものでもいろいろな時期や時間軸によって景観が変わってくると思うので、選んだ後にそういうものが並列できると、おもしろい作品集ができるのではないかと思った。

C委員

イベント等の人間のいる景観はどのように扱えばよいか。それから視点場が港区外のものはどのように扱えばよいか。

事務局

応募チラシの裏面の下「応募に当たっての注意事項等」欄に、「港区内の景観を対象」と記載している。もともと区民の皆様に区内の景観に愛着を持ってもらうということが賞をつくった主旨であるため、視点場が港区内でないと対象から外す

	と考えている。
<u>会長</u>	例えば、仮に、港区内から富士が見えるというものがあれば、それは対象となるのではないか。
<u>C委員</u>	イベントについては、このような人々がいる風景はすごくいいと思うが、いなくなった下の写真はどうかという感じもある。
<u>会長</u>	この場所から見た東京タワーというのはすばらしく、そこにこのようなイベントが絡んだりすることがある、という考え方で扱っていいのではないかと思う。識別し始めると、何通りにもなる。大事なのは、この場所は東京タワーがいいということがベースであると考えればいいのではないか。むしろ難しいのは、芝公園内で微妙に場所が違って、東京タワーがあるものをどこまで区別していくのかということ。これは好みが分かれると思うので、票の入れ方を注目したい。
<u>D委員</u>	私は、東京タワーだけである程度の選定数にするということを想定してやっていけばいいと思うが、その数の相場観というのはどのように考えているか。
<u>会長</u>	事務局の案としては、メインテーマか否かは関係なく、純粹にいい景観を集めて、その結果、東京タワーが多くなれば、それはそれでいいという説明であった。
<u>D委員</u>	毎年のセレクションを蓄積した際の全体的な仕上がりの姿のイメージを持ったほうが良いと考える。全体像としてどのようにまとめていくのか、利用していくのかということとセットで考える必要があると思う。また、資料の赤字部分について、もう少し詳しく説明してほしい。
<u>事務局</u>	行政として、景観を重視する側面もあるが、法の番人の側面がある。違法性のあるもの等、行政として疑義があるものについては、赤い表示でコメントさせていただいている。
<u>会長</u>	1つは、その景観に違法物件が含まれている可能性があるもの。これは港区の景観セレクションに選ばれたということで公表されてしまうと、その景観を区が容認しているということに受け取られても困るということかと思う。そのため、違法物件についてはケアしていただきたいということ。それから、前年までのセレクションの対象と重複しているもの。3つ目は、視点場が民地になっていて自由に入れなかったり、あるいは料金を払わないと入れなくなっていて、あまねく区民がそこに入って楽しめるという空間ではないもの。

事務局	そのほか、市街地再開発事業等により、変わることが明らかなもの。一方で、まちづくりの事業を進めているという側面もあるので、こうした部分は注記をしている。
会長	開発等によって、その景観がいいと思っても、近い将来なくなってしまう可能性があるものは、セレクションの長期的な意味を考えても、正しくないのではないかと思う。
E委員	それでも特に残しておきたいというものは、どのような扱いになるのか。
会長	変わりそうだが残してほしいというものはある。動向がはっきりしているものは仕方がないが、状況がまだはっきりしないものについては、そういうこともないわけではないのではないかと。あと、東京タワーの選定数についてだが、メインテーマ部門で東京タワーと特出しした以上、あまり少ないとメインテーマの意味が薄くなるのではないかと思う。十数件のうち半分は東京タワーでも、それほどおかしくはない。むしろ、芝だけに偏らずに、麻布・赤坂・高輪・港南も見えていくとよいのではないかと思う。真摯に応募されたものをご覧になり、選択応募部門の良い景観はしっかりと票を入れていただきたいし、東京タワーが極端に多くならないようにしたらよいのではないかと思う。
F委員	東京タワーを前面に打ち出したチラシのデザインで、応募者が方向づけられてしまったという感じがする。メインテーマが多くなるのも仕方がないという感じはするが、東京タワーほどアイキャッチャーになるものではなくとも、いいものは拾ってあげる空気が必要だという感じはする。
B委員	過去の第1回、第2回の応募を見ると、それぞれ東京タワーがセレクションに入っている。東京タワーは、1回やったほうが良いという意見があり、今回の募集になったかと思う。応募されたものを見ると、東京タワーは、夜景あり、季節あり、ほかの施設とのセットなり、それから歩きながらいろいろなところが見えるなど、いろいろな視点でみなさんが親しんでいる景観ということを感じた。メインテーマはある程度、3分の1ぐらいは選定したほうが良いと思う。さらに最終審査のときには、歴史・文化や、坂道、通り、街かどなど、次回のメインテーマとして、アピールしてもっとよく見ていただきたいというものも少し考えながら進めていただけたらと思う。また、商店とか看板が入ってくると、違法なものが多く、困ったなという感じがする。お店とか看板は、以前にもすてきだがセレクションに選べないということがあった。やはり商業的なところはほとんど選べないことになってしまうというのが、3回通じて残念に感じたところである。しかし、どうしてもこうしたものも選びたいというものが出てきたら論議していただ

	きたい。
<u>会長</u>	違法というコメントがついていても、この景観はとても大事だから議論したいという場合には、議論の余地はあるということかと思う。
<u>事務局</u>	違法なものがある一方で、屋外広告物景観形成ガイドラインをつくって、いい看板の出し方や、合法の模範例を示しているのだから、そういう意味では、逆に、きちんとしたものでいいものがあれば、選んでいきたいと考えている。
<u>D委員</u>	東京タワーは、これだけ人気があり、還暦60年でイベントがあつたりした。区民景観セレクションとしてある程度の数をまとめて選定して、東京タワーと話をし、協力して何かやるということも考えられると思う。
<u>事務局</u>	東京タワーには、今回の公募においても、ポスターの掲示や、SNSを活用した周知にご協力いただいている。
<u>会長</u>	あくまでも景観を評価するので、東京タワーを記念するからといって無理やり数を増やす必要はない。あくまでも景観の良し悪しを見るが、その結果、東京タワーが見える場所がたくさん選ばれば、メインテーマにもふさわしいことになり、結果としてそうならばよいのではないか。
<u>F委員</u>	なぜ東京タワーばかり、と言う人がいるかもしれない。今年のメインテーマであったということをはっきり言ったほうがいいのかも。東京タワーが嫌いな人も。エッフェル塔のまねだと言う人がいる。
<u>事務局</u>	表彰のときには、テーマを表示する。
<u>I臨時委員</u>	景観は、この写真だけでわからないものがあり、現場で見ることが大事だと感じる。
<u>会長</u>	写真コンテストではないというのが大前提。
<u>C委員</u>	今回は応募数が増えてとても良いことだと思っているが、前回・前々回と比べて今回増えた理由は何か。
<u>事務局</u>	区の各種施設や、区内の地下鉄各駅にポスターを張らせていただくなど、できるだけ多くの方の目につくよう、周知の仕方等工夫した。またメインテーマの設定のほか、選択応募部門で自由に応募できるようにする等、皆様と議論した結果に

<p><u>E委員</u></p>	<p>よるものと考えている。</p> <p>学校や、例えば若いママさんとかお子さんが集まってくる保育施設などにも周知は行ったか。というのは、これから港区を担うであろう若い方々の世代の応募が極端に少ないということが考えられたため、今子育て中で散歩しながら「この景色いいね」と親子で共有している人もいるだろうから、そのような人たちの意見も必要ではないかと考えた。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>小学校・中学校にも、ポスターやチラシを配布した。ただ、漢字のポスターであり、特に小学校などには訴求力は弱かったと感じている。あと、大学にも、広報の協力などを依頼した。</p>
<p><u>B委員</u></p>	<p>小学生に伝えるのは難しいと思う。本当は高校生ぐらいに訴求できると良い。小中学校では景観教育を少しはやれるが、肝心の高校ぐらいが抜けてしまっているのが残念。</p>
<p><u>会長</u></p>	<p>それでは本日の議論をふまえ、100件から30～40件に絞り込み、最終的に10～15件くらいを選定する。予備選定では記入欄のところに、それぞれこれは大事だと思う意見があれば詳しいお考えをコメントしていただきたい。それをもとに審査会において議論が行われる。</p>
<p><u>事務局</u></p>	<p>3 閉会</p> <p>次回の港区景観審議会は、改めて日程調整を行ったのち連絡する。</p>
	<p>閉会</p>